

公益社団法人インテリア産業協会
平成30年度事業報告
(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

I 基本方針関連（概要）

年度当初に掲げた基本方針関連の事業の概要については次のとおりです。

1) IC・KS有資格者等の能力向上・育成関係

一般生活者並びに有資格者の能力向上・育成のために、インテリア等に関する基礎知識の習得、有資格者の経験に応じた講座等のセミナーを、本部及び全国9支部で142件実施しました。

2) インテリア普及啓発関係

一般生活者を対象とした展示会や、若い世代に向けたインテリア普及活動（絵画コンテスト）を全国で17件実施しました。

3) 広報活動

一般生活者や資格者向けのメールマガジン配信などを行うマイページについて、システム統合プロジェクトによる改良を継続し来期稼働に向け準備を進めました。また、資格の魅力をより一層訴求できるウェブサイトのコンテンツの内容の刷新と充実を図りました。

4) 35周年記念関係

上記（1～3）の本部・支部活動の内、比較的規模の大きい事業について「35周年記念」の冠を付け実施し、協会及び資格者等の訴求を強化しました。

II 個別事業

1. 教育事業

1-1 IC・KSハンドブックの書籍頒布

ICまたはKS資格認定試験を受けようとする人、インテリアについて学ぼうとする人などに対しての書籍頒布については、「インテリアコーディネーターハンドブック統合版」7刷版の印刷及び「改訂二版キッチンスペシャリストハンドブック」2刷版の印刷を行い、頒布に供しました。

1-2 資格取得の学習等を支援する通信教育事業

通信教育事業については、IC・KS資格試験の受験を目指す人やインテリアについて学ぼうとする人に対して、次のとおり講座を実施しました。

① IC受験講座（総合／一次／実技）：のべ286人（前年度305人）が受講

② KS受験講座（総合／学科／実技）：のべ118人（前年度134人）が受講

また、KSハンドブックの改訂に伴い、KS講座の一部教材の改訂も行いました。

2. 資格認定試験事業

2-1 IC資格認定試験

第36回IC資格認定試験を、次のとおり実施しました。

・一次試験 平成30年10月7日（日）

・二次試験 平成30年12月2日（日）

- ・試験会場 次の12都道府県に試験会場を設置
北海道、岩手県、宮城県、群馬県、東京都、愛知県、石川県、大阪府、広島県、香川県、福岡県、沖縄県

合格者数等の結果は次のとおり。

■平成30年度（第36回）一次試験・二次試験別申込者・受験者・合格者の概要

【一次試験】		【二次試験】	
受験申込者数	9,879	二次受験対象者数 ^(注)	4,205(内:一次免除者 1,539)
受験者数	8,542	受験者数	3,620(内:一次免除者 1,171)
一次合格者数	2,766	二次合格者数	2,135
一次合格率	32.4%	二次合格率	59.0%

注:二次受験対象者数(4,205)は、基本タイプ一次合格者数(2,666)＋二次試験タイプ申込者数(1,539)

■合格者の推移

実施回[年度]	資格取得対象 受験者数 ^(注)	合格者数 (二次合格者数)	合格率
平成30年度[第36回]	8,966	2,135	23.8%
平成29年度[第35回]	8,569	1,931	22.5%
平成28年度[第34回]	8,589	2,055	23.9%
平成27年度[第33回]	9,154	2,063	22.5%
平成26年度[第32回]	9,361	2,297	24.5%

注:一次・二次の試験を通じて、当該年度に資格取得まで目指した受験者数

2-2 K S 資格認定試験

第31回K S 資格認定試験を、次のとおり実施しました。

- ・試験日 平成30年12月2日(日)(I C二次試験と同日)
- ・試験会場 全国12地域(I C二次試験と同地域)

合格者数等の結果は次のとおり。

■合格者の推移

年度	申込者数			資格取得対象 受験者数 ^(注)	合格者数	合格率
	総合	学科・実技	総数			
H30年度[第31回]	632	346	978	786	288	36.6%
H29年度[第30回]	939	362	1,301	1,050	397	37.8%
H28年度[第29回]	1,096	323	1,419	1,159	417	36.0%
H27年度[第28回]	931	366	1,297	1,050	441	42.0%
H26年度[第27回]	875	341	1,216	975	338	34.7%

注:学科及び実技の試験を通じて、当該年度に資格取得まで目指した受験者数

3. 資格更新登録事業

3-1 登録更新業務の実施

定期的なI C・K S 資格者の登録更新業務を、資格登録システムを利用して確実に実施しました。連絡先住所不明者に対する登録メールアドレスによる住所照会、電話照会を引き続き行い、更新案内の徹底を図りました。

平成30年度の新規登録者を加えて、年度末における登録資格者数は次のとおりです。

- ・ I C資格登録者数： 57,919人（前年度末：57,272人）
- ・ K S資格登録者数： 8,711人（前年度末：8,575人）

3-2 更新者への情報の提供

資格者の活動に有益な知識・情報を盛り込んだ「I C・K S読本」を最新化するとともに、各章のポイントを記載するなどの改善を図りました。平成29年度版で好評であった「インテリアトレンド情報」を更新し、更新該当者全員に、更新案内に添えて提供しました。

4. 講座等開催事業

一般生活者並びに I C及びK Sの有資格者を対象に、インテリア等に関する基礎知識の習得、I CやK Sの職業人としての能力向上を目指した研修事業として、全国各地で講座、講演会等のセミナーを以下の事業を始めとして142件開催しました。開催については、ウェブサイトやMYページのほかメールマガジンを利用し広く案内し、参加の機会を拡げるよう努めました。講座等の実施運営にあたっては、経費の一部に受講者からの参加料を充てて効率的に行いました。

①北海道支部（9件）

◇「北海道暮らしから育てるインテリアキャンペーン 2018in 帯広」など

②東北支部（9件）

◇「ここちよい暮らし計画 ～生活・終活・インテリア」など

③関東甲信越支部（40件）

◇「夏休み子供インテリアワークショップ」など

④中部支部（23件）

◇「富山市立図書館タイアップ・ワークショップ」など

⑤関西支部（4件）

◇「手描きパース集中講座」など

⑥中国支部（11件）

◇「出前授業」

⑦四国支部（3件）

◇「インテリアフェア in 高知」など

⑧九州支部（36件）

◇「インテリアから考える100歳まで幸せな家作りセミナー」など

⑨沖縄支部（4件）

◇「インテリアで長寿社会の生き方革命」など

⑩本部（3件）

◇「エコプロ2018」など

5. 調査研究支援事業

I C・K S等が行う調査・研究への支援として、昨年同様、キッチン、インテリアに関してテーマ公募を行い、次のとおり4件の調査・研究に対して活動資金を助成しました。

- ① 応募テーマ数 6件（キッチン関係：2件 インテリア関係：4件）
- ② 採択テーマ数 4件（キッチン関係：2件 インテリア関係：2件）

③ 採択テーマ名

【キッチン関係】

- ◇自炊学生が日々の生活でキッチンをどのように捉え、どのように使っているかの意識調査（学生アパート用のキッチン研究会）
- ◇小さな子供を持つ共働き世帯におけるキッチンの利用状況の把握（白石ゼミ・松崎ゼミ共同チーム）

【インテリア関係】

- ◇ブラインド等のひもの安全調査（チャイルドセーフティ研究会）
- ◇50代から取り組む住居考～終活前に考えるワクワクする住まいづくり（わくわく住まいラボ）

6. コンテスト開催事業

IC・KS資格制度の普及と資格者の能力向上を目的に、誰もが自由に応募可能な以下のコンテストを継続実施しました。優秀作品については、協会ウェブサイトでの掲載や展示会などインテリア普及イベントの場で紹介の場を設けると同時に、昨年度に引き続き「作品集」および入賞作品を掲載した「年度型カレンダー」を制作して広く頒布し、事業の普及に努めました。

6-1 「住まいのインテリアコーディネーションコンテスト」

本年度も経済産業大臣賞、経済産業省製造産業局長賞の下付を受けて、次のとおり実施しました。昨年に引き続き高校生部門については就職や進学に活かせるよう一般部門に先駆けて実施しました。

【一般部門】

- ①応募受付期間 平成30年11月2日～11月15日
- ②募集内容（応募作品数）
 - ◇事例分野
新築部門（30） リフォーム部門（44） スタyling部門（16）
 - ◇課題分野
A部門 「照明が映える、私だけのインテリア空間」（224）
B部門 「椅子が主役の、ユニークなリビング空間」（74）
- ③応募総数 388作品
- ④審査結果 経済産業大臣賞1作品、製造産業局長賞1作品、会長賞2作品、部門賞5作品、優秀賞5作品、審査員特別賞3作品、合計17作品
- ⑤上位入賞作品

■事例分野

賞名	応募部門	タイトル	受賞者名
経済産業大臣賞	新築部門	田浦の週末住宅	尾越 竜子
会長賞	新築部門	色と光が戯れる家	河本 ぼあら
部門賞	新築部門	Scale Out	石本 輝旭
部門賞	リフォーム部門	和の意匠と暮らすリノベーション	辻 千春
部門賞	スタイリング部門	Comfort Library	末次 矢代み

■課題分野

賞名	応募部門	タイトル	受賞者名
製造産業局長賞	B部門	井空と語る CHAIR	原 将貴
会長賞	A部門	Kumi”ko”bako	村上 裕香
部門賞	A部門	Lighting Time	新田 悠菜
部門賞	B部門	Cirving	奈須 美幸

【高校生部門】

- ①応募受付期間 平成30年7月5日～7月25日
- ②募集テーマ ここから始まる！リビング空間
- ③応募総数 90作品（15校）
- ④審査結果 会長賞1作品、高校生部門賞1作品、優秀賞2作品、奨励賞7作品 合計11作品
- ⑤上位入賞作品一覧

賞名	作品名	入賞者名	高等学校	学年
協会会長賞	空飛ぶいえ	杉菌 はるな	鹿児島県立川内商工高等学校	3年
部門賞	天体観測の家	小倉 都女	千葉県立市川工業高等学校	3年
優秀賞	Minimum な空間で始まる 二人の愛は Infinity∞	戸塚 明子	東京都立工芸高等学校	3年
優秀賞	ジャックと豆の木	酒井 麻衣	東京都立工芸高等学校	2年

今年度も本コンテストの作品集（※1）および上位入賞作品を掲載した年度型カレンダー（※2）を制作して、応募関連先や学校等に頒布しました。

※1 作品集

- ◇住まいのインテリアコーディネーションコンテスト一般部門作品集（2,000部）
- ◇高校生部門作品集（400部）

※2 年度型カレンダー

- ◇住まいのインテリアコーディネーションコンテスト一般部門及びキッチン空間アイデアコンテストの統合版（300部）

6-2 「キッチン空間アイデアコンテスト」

募集要項を関係各種機関へ配布し、KS・ICメルマガ、協会ウェブサイトでの募集、コンテスト専門ウェブサイト（登竜門）等を広報に利用し、次のとおり実施しました。

- ①応募受付期間 平成30年8月20日～10月31日
- ②応募テーマ「こんな人にこんなキッチンを伝えたい」
 - A. 団らん・優しいキッチン空間
 - B. 暮らしが変わったキッチンリフォーム空間
- ③応募総数 253作品（A部門216 B部門37）
- ④審査結果 協会会長賞1作品、部門賞2作品、優秀賞5作品、奨励賞13作品 合計21作品

⑤上位入賞作品一覧

賞名	応募テーマ	タイトル	受賞者(代表者)
協会会長賞	B	保育所にも「暮らし」があるから	大塚 謙太郎
部門賞	A	LAUNDRY KITCHEN	時田 信一
	B	地域を育むセカンドキッチン	永田 賢一郎
優秀賞	A	キッチン×薬局	小嶋 悠祐
	A	独身社会人のための週末キッチン	園田 大輝
	A	そうだ、アーケード行こう。	谷口 ちひろ
	A	環をつくる傘	澤 智己
	B	オフィスの顔+団らん=キッチン	徳永 康治

今年度も本コンテストの作品集（※1）および上位入賞作品を掲載した年度型カレンダー（※2）を制作して、応募関連先や学校等に頒布しました。

※1 作品集

◇キッチンアイデアコンテスト作品集（2,000部）

※2 年度型カレンダー

◇住まいのインテリアコーディネーションコンテスト一般部門及びキッチン空間アイデアコンテストの統合版（300部）（再掲）

7. インテリア普及啓発活動・展示会開催事業

7-1 絵画コンテスト

将来の日本を担う子供たちやその家族に、生活の中にインテリアを取り入れる楽しさを知ってもらい、ICの職能を理解してもらうことによってインテリアに関する普及を図るため、小学生を応募対象とした絵画コンテストを支部において3件開催し、下記の応募作品の展示会を実施しました。

①第16回「こんな部屋いいな絵画コンテスト」（東北支部）

期間 平成31年2月19日～24日

会場 アイリス青葉ビル9階ホール

形態 宮城インテリアコーディネーター倶楽部との共催

②第5回「こんな部屋いいな絵画コンテスト」（九州支部）

期間 平成31年3月3日～4日

会場 かがしま県民交流センター

形態 鹿児島県インテリアコーディネーター協会との共催

③第3回「あったらいいな、こんな家 こども絵画コンクール」（沖縄支部）

期間 平成30年10月19日～21日

会場 沖縄コンベンションセンター

形態 (株)タイムス住宅新聞社との共催

7-2 展示会

消費者を対象に、ICやKSの作品展示、インテリア新製品等の展示等の催しを本部・支部において14件開催・出展しました。

主な催しは次のとおり。

◇「静岡 暮らし博」

期間 平成30年10月6日～7日

会場 ツインメッセ静岡
形態 静岡新聞SBS主催の展示会に出展参加
内容 協会資格者デザインによるブースの出展等

◇「あいち住まいるフェア2018」

期間 平成30年10月12日～13日

会場 名古屋吹上ホール

形態 愛知ゆとりある住まい推進協議会、中日新聞社、中部経済新聞社主催のイベントに出展参加

内容 一般生活者向けのブース展示 他

◇「インテリアフェスティバル2018」

期間 平成31年3月20日

会場 大阪帝国ホテル

形態 主催

内容 インテリア関連新商品の展示 他

◇「JAPANTEX2018」

期間 平成30年11月20日～22日

会場 東京ビッグサイト 東展示場

形態 (一社)日本インテリアファブリックス協会、(一社)日本能率協会主催の展示会に出展参加

内容 協会資格者デザインによるブースの出展

7-3 展示会以外のインテリア普及啓発活動

(1) 中学校技術家庭科用のインテリア副読本の作成配布

中学生向けの「技術家庭科・副読本」については、例年と同様に配布を行った結果、中学校1,064校、約162,000部の実績となり、インテリアの普及を図りました。また、アンケート結果を参考に、ワークシートのさらなる改善を図りました。

(2) 高校家庭科(住まい関係)用の副読本の作成配布

今年度、中学校向けの「技術家庭科・副読本」の高校生版をあらたに作成し、若年層に対するインテリアの普及啓発にさらに注力しました。試行的に東京・大阪の高校に配布希望を募ったところ予想を上回る多数の配布希望があり、結果として55校、約14,000部の実績となりました。

III 協会の組織運営

1. 協会本部に設置する委員会組織体制と主な活動内容

外部有識者や協会会員企業により委員会を構成し、協会各事業の実施・運営方針等を審議するなどの活動を行い、各事業を推進しました。

具体的には次のとおり。

(1) 運営委員会

本委員会では、次年度活動方針、同年度予算案等の審議を行い、事業計画・収支予算作成に反映するなど事業運営を推進しました。

(2) 情報・広報委員会

本委員会では、新規コンテンツ制作について公開後の状況分析を行い、今後の方針等を検討しました。

(3) IC資格制度検討委員会

本委員会では、受験者の増加に向けた資格試験の制度改善などを検討しました。

(4) インテリア普及啓発委員会

本委員会では、展示会事業、「住まいのコーディネーションコンテスト」の方針立案や実施推進を行うほか、インテリア関係の調査研究助成のテーマ審査などを行いました。

(5) KS資格普及啓発委員会

本委員会では、「キッチン空間アイデアコンテスト」の方針立案やキッチン関係の調査研究助成事業のテーマ審査などを行いました。

2. 会員活動

2-1 協会への入会促進活動

協会ウェブサイトや各種パンフレット等により定期的に広報を行うとともに、本部・支部の各種事業イベントを通じて、幅広く関連企業等に入会を働きかけました。

年度末時点の会員数は次のとおり。

◇年度末会員数：正会員数は170（前年度175）賛助会員は18（前年度17）

2-2 「会報」の定期的な発行

協会事業活動のタイムリーな情報を盛り込んで、年4回の会報を発行しました。うち1回は、協会設立35周年記念号として内容を充実して発行しました。

3. 交流活動

インテリア関連の業界団体、教育機関、学術団体等との連携、関連メディアとの交流を引き続き推進しました。また、内閣府、経済産業省など関係官公庁との連絡を的確に行い、当協会の諸事業の適正な運営に努めました。

4. 広報活動

4-1 インターネットによる情報提供

資格者へのメールマガジン配信は、定期配信を年間24回、会員企業・団体からの申請に基づく不定期配信を年間78回行い、資格者への情報提供の充実を図りました。

ウェブサイトについては、資格試験などの必要な情報の更新を行うなど適切に運営しました。

4-2 協会キャッチフレーズの作成・活用

協会事業の周知を図り、認知度を高め、インテリアへの関心を喚起するために公募したキャッチフレーズの選考を行い、応募総数1999作品の中から『あ、居心地、いいかも』を選定しました。選定されたキャッチフレーズは、広報資料や各種事業活動等で幅広く活用しました。

5. その他

資格者の登録情報の一元管理を目指し、情報を管理する「資格者管理システム」と資格者活動支援ツールである「MYページ」のデータベースを統合する新規システム（統合システム）の第1フェーズを完了し、第2フェーズとして、システム構成や各種機能、運用面への影響などの各種要件について分析や策定を進め、実際のシステム構築作業を計画通り着手しました。

以上